

〈隸書〉

泰山北斗外道行世
赤箭靈芝意自春

清原大龍先生書

(この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする)

半折作品は各課目ごとに横1/8に一枚ずつたたんで提出ください。

〈楷書〉

泰山北斗道行世
赤箭靈芝意自春

井之上南岳先生書

□ 泰山北斗道世に行われ

赤箭靈芝意自から春なり

(陳天錫)

次号予告「緑楊近浦堪垂釣 翠竹當軒好韻琴」

〈行書〉

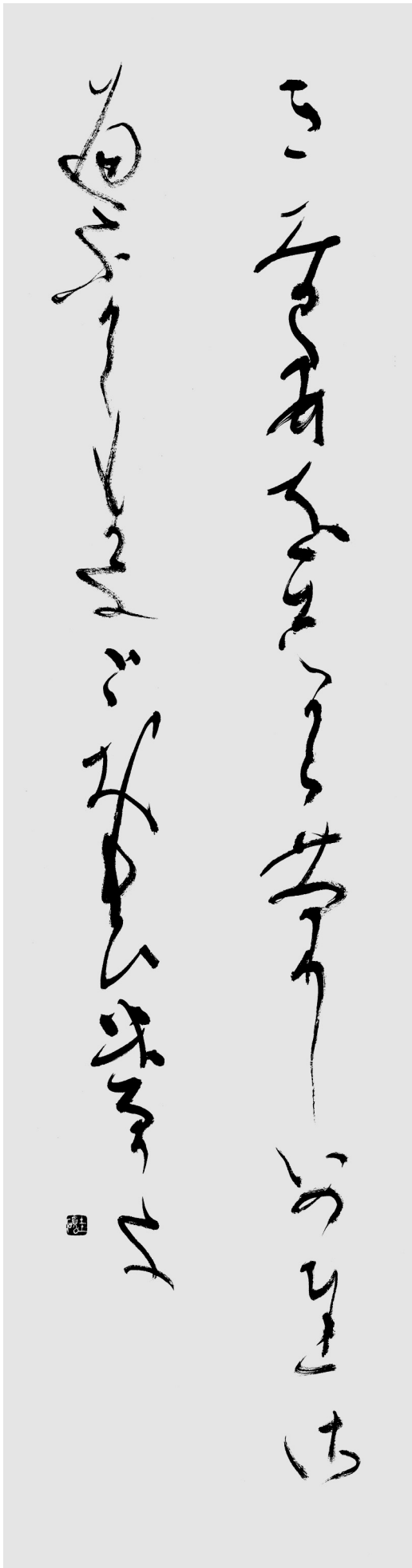


小畠秋聲先生書

▽五岳の一たる泰山や北斗星のように道はこの世に行われ、赤箭という薬草や霊芝もおのずから春色を成している。

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

舟尾圭碩先生書



□ きみ可多め^{かた}を志可ら散りし^{しか}いの遅佐遍^{ちさへ}な可くも可な^かとおもひ遣る可な^け
 君かため 惜しからさりし いのちさへ 長くもかなと 思ひけるかな

△百人一首五十▽

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

吉田成美先生臨

寶子建寧同樂人也
君少稟瓊偉傳之

寶子建寧
成美臨

▽ 爨宝子碑

寶子建寧同樂人也君少稟瓊偉之

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

吉田成堂先生書

展望遙かな内輪山で
春を啼いてゐる

□ 「阿蘇山（抄） 佐伯郁郎の詩」 展望遙かな内輪山で 雲雀がしきりに 春を啼いてゐる

△ 手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。▽

半折作品は各課目ごとに横／＼に一枚ずつたんで提出ください。

条幅 随意参考手本（半折 $\frac{1}{2}$ 横のみ） — 4月28日締切 —

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

《手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。》



吉田成美先生

□「今、咲き誇る花たちよ」
小渕健太郎の詩
今 咲き誇る花たちよ
はてなき大地に愛が芽吹くように
最近、コブクロが歌うソチパラリンピック放送テーマソングをよく耳にします。
それぞれの人
生に負けぬ強
さと優しさが
詩に溢れ、聴
いていて元氣
の出る詩です。
曲を聴きな
がら書くの
もいいでし
よう。



山本飛雲先生

□「帰一」
分かれている物が最終的に一つになると。
最近「四剛六羊」筆をよく使用します。
鋒の開閉と腰の弾力性に富んでいるため、腕の上下動の加減で多彩な線質の表出を楽しんでいます。

※半折 $\frac{1}{2}$ 横の出品票
は作品の左下に貼
って提出
下さい。

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 帰心日に悠なるかな(唐・岑参)
しみじみと故郷に帰りたいという思いが胸に深く広がってくる。

歸心日
悠哉

成美書
吉田

次号予告「溪廻日氣煖」

吉田成美先生書

(この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする)

□ 帰心日に悠なるかな (唐・岑参)
しみじみと故郷に帰りたいという思いが胸に深く広がってくる。



次号予告「溪廻日氣煖」

吉田成美先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

□ 經^{けい} 德^{とく} (「孟子」 尽心下)
人の守るべき常の道德。

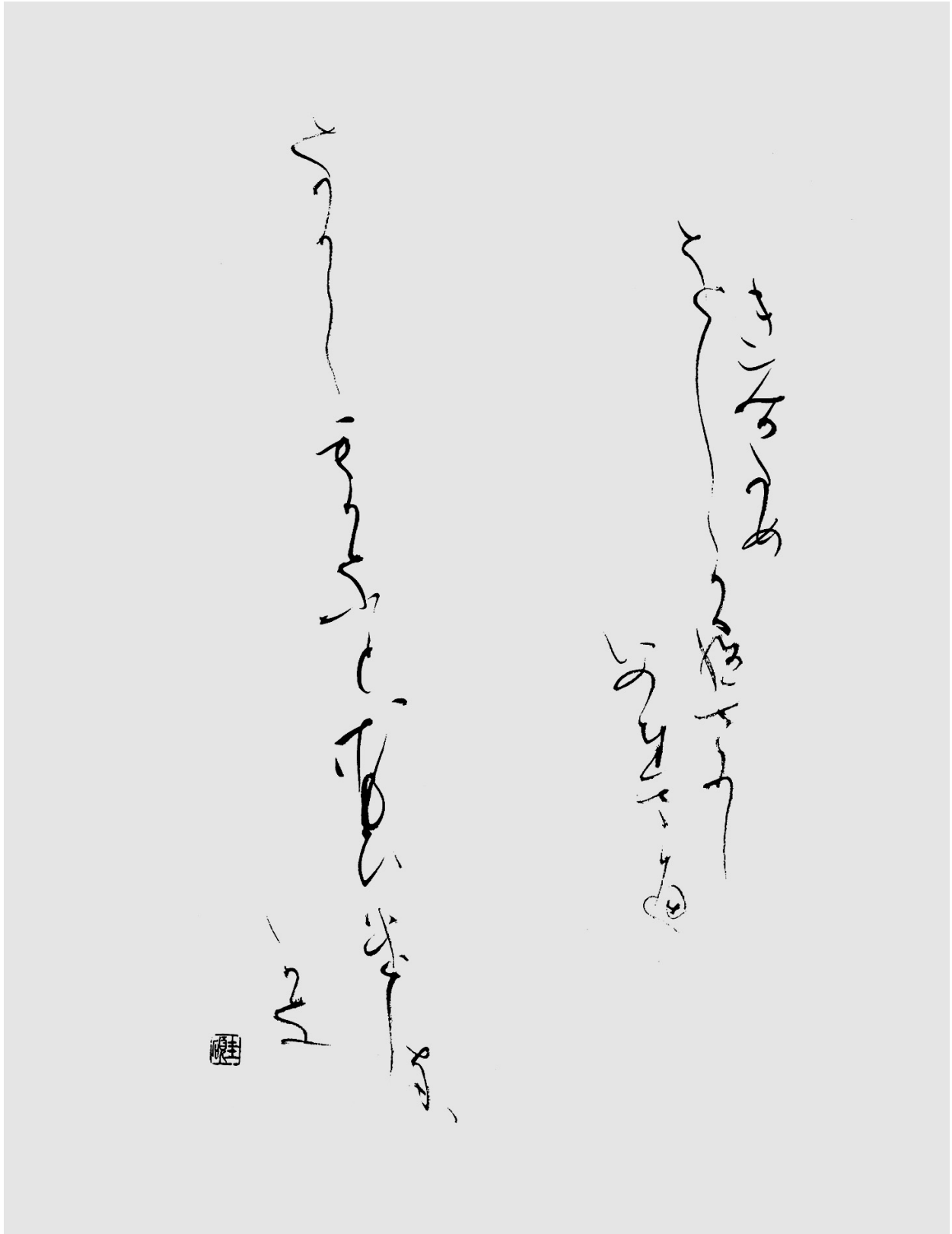


半紙随意参考手本 — 4月28日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△仮名▽

君かため 惜しからさりし いのちさへ 長くもかなと 思ひけるかな



□ きみ可多め をし可羅さりし いの遅さ遍 な可くも可なと おもひ遣流可な

舟尾圭碩先生書

半紙随意参考手本 — 4月28日締切 —

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△詩文書▽

存分に しまれて月の 櫻かな △仙田洋子の句▽

※出品券は、半紙をタテにした左下に貼って提出ください。(ヨコ作品の場合も半紙をタテにして同様に貼ってください)



大 竹 美 喜 先 生 書

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

△臨書▽

隸意を含む楷書を意識し、大胆な筆致で書いてみました。



「寶子連寧」

吉田成美先生臨

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

姓 号	結 婚	就 職	卒 業	入 学
	退 職	転 勤	赴 任	出 産
	健 康	報 告	転 居	就 任

△実用書▽

入学 入学
就職 就職
転勤 転勤
報告 報告
結婚 結婚
退職 退職
赴任 赴任
転居 転居
健康 健康

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする)

△手紙文▽

気付けば桜の賑わいも終わり
 出番を待っていたかのように次の
 主役が躑躅に交代しました
 白、真紅、桃色と重なり合っ
 山の斜面を染めています 由季

気付けば桜の賑わいも終わり 出番を待っていたかのように 次の主役が躑躅に交代しました
 白、真紅、桃色と重なり合って山の斜面を染めています 由季

兵頭白慧先生書

(この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目A・Bのいずれか一点のみとする)

書言

△暮らしに役立つ書▽

満開の桜の中、ご入学おめでとうございませう。
念願の大学に入学され、ご両親もさぞかし
お喜びのことでしょう。

医学の世界は生命を守るといふ大変な
お仕事だと思ひますが、あなたなら大丈夫です。
祖父様のように仁徳のある医師になれると
信じています。苦難もあるでしょうが、プラス
思考で輝く夢に向かって精進してください。

美美

野のある便箋に書いてみよう。

△ 26 cm × 18 cm ▽

紙質は自由。

・最近、成人部への高齢者の入門が多い様です。上達について問われることがありますが、入門した時が「吉」であとは努力次第です。七十歳で入門し、八十歳で師範取得者も、多数いらっしゃいます。「書」は末梢神経、脳の活性に役立ちますので頑張ってください。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

樋口凌雲先生書

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

麦わら

小学 4 年

十にん

小学 3 年

けいこ

小学 2 年

たい

ようねん・小学1年

遠い雷鳴

中学 2・3 年

新しい風

中学 1 年

深い友情

小学 6 年

成長日記

小学 5 年

坂元紫香先生書

△条幅 ¼ 四尺画仙紙半折 ¼ : 68 cm × 17・5 cm ▽

□ “ハネ” “ハライ” “トメ” のちがいに気をつけて、のびやかに書きましょう。



小学二年

次号予告「ちまき」

□ うで全体をつかって、げんきよく書きましょう。「い」は長さのちがいに気をつけて。



ようねん・小学一年

次号予告「つり」

坂 元 紫 香 先 生 書

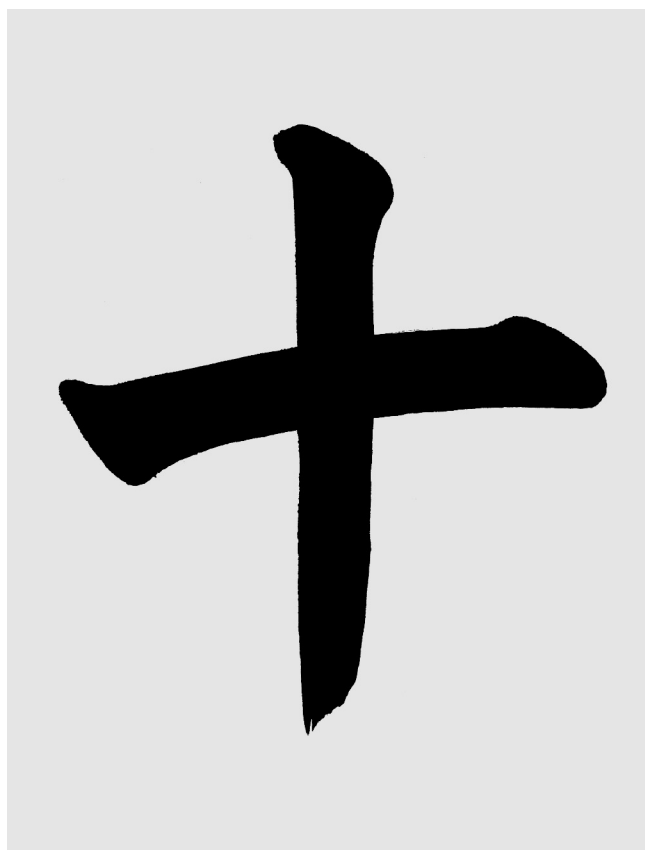
□ 横画の間は均一にとり、左右の“ハライ”の方向や長さ、強さに注意して書こう。



小学四年

次号予告「林」

□ 筆先をそろえ、始筆・終筆をしつかりとおさえ、タテ画はゆつくりとぬきましょう。



小学三年

次号予告「大」

吉 田 成 美 先 生 書

小学五年

次号予告「草原」

成長

□「成」の筆順に注意して、左右の「ハライ」をのびのびと書きましょう。

小学六年

次号予告「道」

友情

□「友」は左右の「ハライ」の長さや方向に注意し、「情」は縦画をまっすぐに力強く。

秋 永 春 霞 先 生 書

中学一年

次号予告「すみれ草」

新風

□小学校で学んだ書写の楷書との違いや変化に気をつけながら、伸びやかに書きましょう。

中学二・三年

次号予告「読書」(行書)

雷鳴

□行書での点画の丸みや連続、省略などを理解し、名前も行書で練習しましょう。

吉 田 成 美 先 生 書

— 4 月 28 日 締 切 —

小学二年

[illegible]

坂元紫香先生書

ようねん・小学一年

氏名	段級			
	い	み	い	は
	ち	ん	た	る
	ね	な		の
	ん		お	
	せ	と	は	は
	い	も	よ	な
		だ	う	
		ち		さ

小学四年

クローバーが青々と広がり、
わた毛と黄色の花の交ざ
ったたんぽぽが点々のも
ようになつてさいている。

◎ふででよこせんにつける ナナ草苗黄	◎とめる ナナ社花
段級	氏名

◎立ててよこせんにつける ナナ六交	◎あいたであける
----------------------	----------

坂元紫香先生書

小学三年

①立ててよこせんにつける 上 戸 店 店 店 「 戸 門 門 開 (ひら) ー 口 目 目 見 見	段 級	氏 名	きつつきが、お店を開 きました。えりすぐりの 木を見つけてきて、かん ばんをこしらえました。
	②上にはねる ③上のをかくより少し長い		

小学六年

下の横画は 上より長い ⑥つける ⑦はねる ⑧まっすぐ下におろす ⑨はねる ⑩はねる	段 級	氏 名
	氏 名	
「お父さんウィーク」の初日、お父 さんは、さっそく特製カレーライ スを作った。「ほら食べろ、お代わ りたくさんあるぞ。」と、きげんな 顔で大盛りのカレーをばくつく。		

小学五年

⑪左にはねる ⑫上にはねる ⑬上より長い ⑭上にはねる	段 級	氏 名
	氏 名	
運の悪いことに、そのエルダツ トと同室になってしまった。同 じ部屋で、ね起きすることに なったのだ。ねる時間になった ので、ぼくは明かりを消した。		

小 畠 秋 聲 先生 書

一 般 (A)

山村暮鳥（やまむらぼちょう） （この課題はA・Bいずれか一点のみとする）	段 級	氏 名
	氏 名	
山村暮鳥はかつて、「いちめんのやの はな」と二十四回も繰り返す文字を連 れて菜の花を歌った。薄緑色の、や 不細工な形の葉に黄の花が溶け込む。 私たちはそこに希望の帆布を見る。		

中 学

⑮とめる ⑯和・和・和種 ⑰育海（いくみ）	段 級	氏 名
	氏 名	
花の球根や野菜の種を優しく包 んでいる土のおいだ。育海はス カートのすそに泥はねが付く雨の 日は好きではない。けれども、黒い 土のおいをかぐのは好きだった。		

小 畠 秋 聲 先生 書

※ 142%拡大で原寸大になります。